

水道

1	沿	革	259
2	事業	概要	261
3	料金及び加入金		262
4	経営	状況	263
5	職員数及び給与		264
6	施設		265

1 沿 革

水道の創立は遠く明治22年、市制の施行により上水道設置の要望が高まり、明治43年水源地調査費を予算に計上、調査の結果八景水谷を水源地とし、立田山を配水池とする旨の結論を得た。しかしその後水利関係にからむ地元民の猛反対等で候補地も再三変更を余儀なくされ、交渉は困難を極めたが、大正13年3月ようやく地元民との了解が成り、同年11月工費約228万円で竣工、通水をみたのである。その後配水管の布設等施設拡充が続けられたが、第2次大戦により資材は不足し建設改良も思うにまかせず、空襲による被害は施設の老朽とあいまって事業運営に重大な支障をきたし、加えて終戦後の復員や引揚者による人口増加は必然的に配水能力の不足を招き、時間給水制限等を行わざるを得ない状態となった。

これに対処するため水源地の確保を主とした第1次拡張工事が行われたが、まず第1期工事として、健軍に水源を求め、工費250万円で昭和25年8月健軍水源地が竣工、1日の配水能力も37,000㎥と大幅な増加を示した。

第2期工事として、昭和40年度における給水人口20万人、1日の最大配水量60,000㎥を目標とした5カ年計画を樹立、昭和25年8月に着工、一本木及び亀井の2カ所の水源地の新設、立田山配水池の増設等総工費約3億8,209万円を投じ昭和31年11月完工を見た。

引続き昭和46年度における給水人口35万人(当初計画34万5千人)、1日の配水能力103,000㎥(当初計画102,000㎥/日)を目標とした第2次拡張工事を計画、5カ年継続事業として昭和33年1月に着工、川尻、城山両水源地の新設徳王配水池の新設、立田山配水池の増設及び健軍水源地並びに八景水谷水系の取水井の増設等総工費7億9,800万円をもって昭和37年3月完工した。この事業により北部方面の高台地区並びに急激に発展した東部地区への円滑な給水が可能となった。また未給水地区であった川尻、高橋両地区もそれぞれ給水を開始した。しかしながら今日の急速な水需要は著しいものがあり、これに対処すべく生活環境の整備、産業の振興を柱とする人口60万都市の未来像に向って、本市マスタープランに沿い第3次拡張工事を計画(内容別記)14カ年継続事業(当初10カ年)として、昭和41年4月着工、現在鋭意工事を遂行中である。

第3次拡張工事計画

第3次拡張工事を行うことにより、本計画開始時における配水能力129,700 m^3 より153,300 m^3 上回る283,000 m^3 の配水が可能となる。

認可年月日 昭和41年2月15日

期 間 昭和41年4月1日～昭和55年3月31日

目標年次 昭和55年度

基本計画 計画給水人口 461,000人 1日最大配水量 283,000 m^3
1人1日最大配水量 614 ℓ 1人1日平均配水量 476 ℓ

事業内容

(昭52.4.1現在)

給水区	工 種	工 費	摘 要
北 東 部	取水施設費	506552	さく井8カ所を設置、岩倉山に11,250 m^3 の配水池を築造し、清水町、楠団地、武蔵ヶ丘団地及び龍田町方面に配水する
	送水施設費	289665	
	配水施設費	995582	
	計	1,791,799	
北 西 部	取水施設費	162816	さく井4カ所を設置し、徳王配水池、既設分3,000 m^3 と増設分7,500 m^3 の配水池にて池田町、京町、花園、島崎方面の高台地区一帯へ配水する
	送水施設費	332044	
	配水施設費	790895	
	計	1,285,755	
中 部	取水施設費	733150	さく井8カ所を設置し、既設配水池、立田山22,500 m^3 と万日山に5,000 m^3 の配水池(西部と兼用)また、田迎に7,000 m^3 の配水池(南部と兼用)を新設し、旧市街地区の水圧低下を防止し、配水の円滑化を図る
	浄水施設費	95171	
	送水施設費	648814	
	配水施設費	2064588	
東 部	取水施設費	513424	さく井8カ所を設置し、健軍水源地に24,000 m^3 及び沼山津ポンプ場に17,500 m^3 の配水池を築造し、ポンプ圧送にて本荘、大江、健軍方面へ配水する
	送水施設費	222054	
	配水施設費	4952491	
	計	5,687,969	
西 部	取水施設費	407331	さく井3カ所を設置し、城山に2,000 m^3 の配水池(新設)及び万日山に5,000 m^3 (中部と兼用)の配水池により、中島、小島、松尾、八島団地方面へ配水の円滑化を図る
	浄水施設費	38091	
	送水施設費	66548	
	配水施設費	528054	
南 部	取水施設費	244624	さく井3カ所を設置し、川尻水源地に800 m^3 の配水池築造と、田迎配水池7,000 m^3 (中部と兼用)により川尻町方面へ配水する
	浄水施設費	52268	
	配水施設費	630782	
	計	927674	
託 麻	取水施設費	280715	さく井3カ所を設置し、小山山に3,500 m^3 の配水池を築造し、託麻町へ配水する
	浄水施設費	282703	
	配水施設費	1237860	
	計	1,801,278	
一般附帯工事費		1167	
測量設計委託料		78911	
事務費		1108034	
合 計		17,264,334	(内起債額16,385,900)

2 事業概要

(1) 給水普及状況

区分 年度	行政区域内 (A)				給水区域内 (B)				現在給水 (C)	
	人口	戸数	普及率 (C/A)		人口	戸数	普及率 (C/B)		人口	戸数
			人口 %	戸数 %			人口 %	戸数 %		
47	452558	136139	82.3	83.6	441576	131505	85.1	86.5	380,252	113,810
48	468431	139928	83.7	86.7	461,348	138,150	85.0	87.9	392,131	121,364
49	477450	144372	84.3	88.9	470,367	142,594	85.6	90.3	402,550	128,344
50	489561	153028	86.2	88.5	489,030	152,916	86.3	88.6	422,081	135,446
51	496891	155597	87.0	91.8	496,360	155,485	87.1	91.9	432,500	142,820

(2) 配水量

区分 年度	総配水量	1日最大量 配水量	1日最小量 配水量	1日平均 配水量	1人1日最大 配水量	1人1日平均 配水量	最大月の1日 平均配水量
47	52595,777 ^{m³}	8/7 180,935 ^{m³}	1/1 103,617 ^{m³}	144,098 ^{m³}	489 ^ℓ	389 ^ℓ	16,524 ^{m³}
48	57259,761	7/16 199,600	1/1 114,591	156,876	515	404	18,792 ^{m³}
49	58,909,416	8/19 200,153	1/1 119,597	161,396	500	403	18,713 ^{m³}
50	65,318,528	8/4 221,702	1/1 130,946	178,466	543	433	20,339 ^{m³}
51	66,464,441	8/9 221,150	1/1 135,941	182,094	516	424	20,847 ^{m³}

(3) 有収水量と無効水量

区分 年度	総有収水量	1日平均 有収水量	有収率	無収水量	無収率	総有効水量	1日平均 有効水量	有効率	無効水量	無効率
47	39,724,677 ^{m³}	108,835 ^{m³}	75.5%	3,798,288 ^{m³}	0.72%	40,104,505 ^{m³}	109,875 ^{m³}	76.3%	12,491,272 ^{m³}	23.8%
48	42,634,025	116,806	74.5	4,684,25	0.82	43,102,450	118,089	75.3	14,157,311	24.7
49	44,499,309	121,916	75.7	4,671,12	0.79	44,966,421	123,196	76.5	13,820,901	23.5
50	49,014,005	133,918	75.8	4,895,90	0.76	49,503,595	135,256	76.5	15,182,947	23.5
51	50,433,034	138,173	76.0	5,445,76	0.82	50,977,610	139,665	76.8	15,373,638	23.2

(4) 水道管延長

区分 年度	導水管 延長	送水管 延長	配水管 延長
47	6064 ^m	17204 ^m	901871 ^m
48	7265	17204	994065
49	7848	18929	1,069,180
50	8054	20,065	1,110,012
51	11,727	20,065	1,155,940

(5) 口径・用途別給水量及び収入状況

(昭和51年度)

口径・用途別	区分	給水量	構成比	収入	構成比
一般用	13	294,244,23 ^{m³}	58.34%	1,768,920,198 ^円	48.52%
	20	29,964,84	5.94	20,052,827,2	5.50
	25	44,414,16	8.81	34,009,088,1	9.33
	40	33,274,59	6.60	32,306,053,1	8.86
	50	33,574,07	6.66	32,302,782,3	8.86
	75	35,524,08	7.04	35,884,184,9	9.84
	100	1,888,701	3.74	19,123,497,1	5.25
	150	922,276	1.83	95,122,463	2.61
	湯屋用	200,135	0.40	42,794,40	0.12
共用	共用	151,299	0.30	628,115,9	0.17
	一時用	171,026	0.34	34,128,807	0.94
	計	504,33,034	100	3,645,516,394	100

水道

(6) 簡易水道

(昭52.4.1現在)

地区	通水開始年月日	水源の種類	配水設備	給水方式	給水戸数	給水人口
平	昭31.8.18	谷間湧水	容量30 ^m 1池 ろ過池 2池 口径75mm	自然流下式	44	198

3 料金及び加入金

- (1) 水道料金 昭和50年 9月20日改定
昭和51年 1月 1日実施

区分 口径・用途別		基本料金 (1月につき)	従 量 料 金			
			第 一 段	第 二 段	第 三 段	第 四 段
一般用	13mm	8㎡以下 360円	9㎡以上 20㎡以下 1㎡につき58円	21㎡以上 30㎡以下 1㎡につき65円	31㎡以上 40㎡以下 1㎡につき73円	41㎡以上 1㎡につき83円
	20mmから 25mmまで	380円	9㎡以上 20㎡以下 1㎡につき60円	21㎡以上 30㎡以下 1㎡につき68円	31㎡以上 40㎡以下 1㎡につき77円	41㎡以上 1㎡につき88円
	40mm	1,400円	20㎡以下 1㎡につき68円	21㎡以上 50㎡以下 1㎡につき78円	51㎡以上 100㎡以下 1㎡につき89円	101㎡以上 1㎡につき 101円
	50mm	2,100円				
	75mm	4,200円				
	100mm	7,000円				
	150mm	14,000円				
浴場営業用		150㎡以下2,600円	151㎡以上 1㎡につき 20円			
共用給水装置		1戸につき6㎡以下 (基本水量)150円	基本水量をこえる水量1㎡につき 30円			
一時用		1㎡につき 200円				
私設消火せん		口径50mm未満20分以内1個1回につき 口径50mm以上20分以内1個1回につき		300円 600円		
連合専用給水装置		1戸につき一般用の料金を適用する				
簡易水道		次の範囲内で管理者が別に定める 平地区 総月額 12,000円				

- (2) 加入金 昭和50年9月20日改定
昭和51年1月 1日実施

メーター口径	加入金(基準額)
13mm	30,000円
20	60,000
25	90,000
40	300,000
50	540,000
75	1,050,000
100	2,100,000
150	3,000,000

(注) 増径工事の場合は現在の口径と新口径の差額とする

(3) 料金収納状況

(昭52.3.31現在)

区 分	人員	交 付 額		収 納 額		収 納 率		1人1ヵ月当り交付額	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金額	件数	金 額
委託集金	58	1205568	2143,390,660 ^円	1072974	1,925,120,557 ^円	89.00%	89.82%	1,732	3,079,584 ^円
整理集金	3	3994	11,163,365	3458	998,5335	86.58	89.45	110	310,093
計	61	1,209,562	21,545,540.25	1,076,432	1,935,105,892	88.99	89.81	1,652	2,943,379

(注) 昭和42年4月1日委託業務開始

委 託 先 熊本市練兵町10番1号 株式会社肥後集金センター

委 託 件 数 月平均100,464件 委託率 100%

委託手数料 徴収1件につき70円 (昭52.4.1改訂)

4 経 営 状 況

(1) 収益的収支の推移

(単位 円)

事 項 \ 年 度	47	48	49	50	51
総 収 益	1,331,204,288	1,817,052,124	1,951,594,482	2,253,343,523	3,749,680,455
料 金 収 入	1,271,750,598	1,755,717,157	1,880,055,212	2,178,277,326	3,645,516,394
そ の 他 収 入	59,453,690	61,334,967	71,539,270	75,066,197	104,164,061
総 費 用	1,452,688,938	1,734,741,130	2,445,417,766	2,858,344,069	3,246,109,204
職 員 給 与 費	753,338,839	861,787,439	1,157,724,484	1,296,464,998	1,378,629,384
電 力 費	1,222,516,17	1,390,946,98	2,383,676,28	2,767,477,91	3,519,638,20
物 件 費	3,335,388,6	3,984,731,2	5,487,501,4	5,251,355,7	5,843,936,3
減 価 償 却 費	1,779,123,77	2,111,004,87	2,556,677,13	3,096,757,64	3,775,365,67
支 払 利 息	1,727,874,52	2,497,978,10	4,347,036,60	5,787,962,06	6,643,733,00
そ の 他	1,930,447,67	2,331,133,84	3,040,792,67	3,441,457,53	4,151,667,70
単年度損益	△121,484,650	82,310,994	△493,823,284	△605,000,546	50,357,1251

(2) 資本的収支の推移

(単位 円)

事 項 \ 年 度	47	48	49	50	51
資 本 的 収 入	652,647,784	1,929,586,247	1,672,656,749	1,435,514,645	2,166,148,833
企 業 債	604,000,000	1,810,000,000	1,491,000,000	1,271,400,000	1,783,200,000
そ の 他 収 入	48,647,784	119,586,247	181,656,749	164,114,645	382,948,833
資 本 的 支 出	990,194,397	2,417,021,536	2,172,312,915	1,608,410,009	2,267,442,473
建 設 改 良 費	902,176,528	2,333,153,780	2,083,526,244	1,499,409,022	2,132,358,869
企 業 債 償 還 金	880,178,69	838,677,56	887,866,71	1,090,009,87	1,350,836,04
資本的収支不足額	337,546,613	487,435,289	499,656,166	1,728,953,64	1,012,936,40

(3) 供給単価及び給水原価

(単位 円/㎡)

事項 \ 年度	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
供給単価	3192	3216	3214	3227	3226	3202	4118	4225	4444	7229
給水原価	2645	2797	2882	3158	3346	3594	4007	5416	5754	6356
損益	547	419	332	069	△120	△392	111	△1191	△1310	873

5 職員数及び給与

(1) 職種別職員数

(昭52.4.1現在)

性別 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
男	1	92	199	32	4	328
女	—	22	2	0	0	24
計	1	114	201	32	4	352

(2) 職種別1人月平均給与額等

(昭52.4月分)

事項 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
基本給(円)	369200	214511	193681	174515	239025	199216
特殊勤務手当(円)	0	4320	5991	6826	4000	5502
超過勤務手当(円)	0	5782	15343	2413	16969	11077
その他の手当(円)	0	4449	8714	7236	5350	7156
合計(円)	369200	229062	223729	190990	265344	222951
年齢(才)	553	444	419	384	546	422
勤続年数(年)	1.3	20.1	16.8	13.5	21.8	17.5

(注) 合計欄は特別職を除く

6 施 設

(1) 水 道 施 設

(昭和52年度)

名 称				竣工年次	施設能力	施 設 内 容		
水 源 地	八 景 水 谷	軍 木 井 尻 山 津 田 麻 室 上	大14. 3 昭25. 12 27. 11 30. 3 36. 9 38. 3 46. 2 44. 3 45. 11 50. 3 51. 3	移管	28000 m ³ /日 90,000 16000 8000 8000 11,000 32000 28000 4000 8000 10,000	浅井2本 1 1	深井2本 14 3 3 2 4 6 6 4 2 4	ポンプ8台 16 6 6 6 6 9 9 8 4 7
	配 水 池	立 徳 城 託 岩 倉 川 健 万 田 山 王 山 麻 山 尻 軍 山	大14. 3 昭35. 3 38. 3 45. 11 47. 3 47. 3 49. 5 51. 1	移管	22500 m ³ 7500 2630 500 7500 1440 24000 5000	鉄筋コンクリート造り 5池 3 2 2 2 3 2 2		
	加 圧 ポ ン プ 所	花 大 島 長 立 岩 高 万 上 谷 つ 本 平 託 本 岡 山 窪 崎 迫 山 山 平 日 尾 崎 丘 寺 山 麻 第 2	35. 8 36. 10 38. 6 39. 9 40. 3 40. 3 40. 8 41. 9 43. 6 44. 3 44. 10 47. 12 48. 8 49. 6 49.		30 m ³ /時 96 72 54 1500 11 96 84 126 132 21 75 66 336 252	ポ ン プ 2台 2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 2		
	水 質 検 査 室			49. 5	水 質 分 析 器 機 一 式			
	水 道 記 念 館			49. 6	展 示 物 200余点			

(注) 施設能力欄中 水源地……取水最大能力 配水池……容量 加圧ポンプ所……揚水量を示す

(2) 局 舎

所 在 地 熊本市水前寺6丁目2番45号 構 造 鉄筋コンクリート、地下1階、
敷地面積 9,344 m² 地上3階、塔屋1階
建物面積 延3,480 m² 施 工 龍建設株式会社
着 工 昭和37年12月28日 総 工 費 190,621千円
竣 工 昭和38年12月20日

水道

